

SDGs達成へ向けた県の取り組み

県では、全庁的にSDGs達成に向けて取り組んでいます。ここでは、健康づくりや環境保全など、取り組みの一部をご紹介します。

健康長寿日本一を目指した健康づくり



健康長寿日本一を目指し、県民が健診受診や、生活習慣の改善といった健康づくりに取り組むことのできる環境づくりを進めています。

「ながさき3MYチャレンジ」や県政トピックス(P10)で紹介している「ながさきヘルシーアワード」も取り組みの一つです。



ながさきヘルシーアワードを受賞した皆さん

男女共同参画社会の実現に向けて



女性が活躍できる場の拡大や男女が共に働きやすい環境づくりなどに取り組んでいます。

生徒の意識醸成を目的に行っている「女子高校生企業見学会」や、働きたい女性への就業支援(ウーマンズジョブほっとステーション)などを行っています。



女子高校生企業見学会の様子

循環型社会の形成に向けて



循環型社会の形成を目指し、ごみの減量化・資源化のために食品ロス削減や「4R」の普及啓発に取り組んでいます。

県内では、1人1日あたり108g(おにぎり1個分)の食品ロスが発生しています。大切な食料資源を無駄にしないため、家庭や企業にある未利用食品を生活困窮者や福祉施設に提供する「フードバンク活動」の支援などを行っています。



4つの「R」から始まる言葉がキーワード

国際交流の推進や平和の実現に向けた情報発信



これまでの交流により友好関係を培ってきた海外の姉妹(友好)都市との相互交流や青少年交流を行うとともに、市町や民間団体などの多様な交流を推進しています。

また、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け、原爆の悲惨さや非人道性を世界に発信するとともに、高齢化が進む被爆者の被爆体験の継承に取り組んでいます。



日本と中国の学生によるカステラ作り体験

なぜ?? 今SDGsに取り組む理由

現在問題となっている環境汚染や資源消費などがそのまま続けば、近い将来に地球上の成長は限界に達する可能性があるといわれています。皆さんの子どもや孫の代が大人になった時、今以上に安全・安心かつ平和で、生きていて幸せと思える世界にするためには、今すぐ取り組む必要があります。

特集 持続可能な社会の実現に向けて

special issue

～みんなで取り組もうSDGs～

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年に国連サミットで採択された国際目標で、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指し、下記の17の目標から構成されています。

国際社会全体の目標ですが、地域の課題解決や地域活性化につながるものでもあり、県も積極的にSDGsに取り組んでいます。目標達成には、行政、企業、県民などあらゆる皆さんのご協力が欠かせません。達成期限である2030年に向けて、みんなで取り組んでいきましょう。



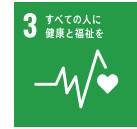
目標1 [貧困]

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



目標2 [飢餓]

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



目標3 [保健]

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



目標4 [教育]

すべての人への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



目標5 [ジェンダー]

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



目標6 [水・衛生]

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



目標7 [エネルギー]

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標8 [経済成長と雇用]

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する



目標9 [インフラ、産業化、イノベーション]

強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



目標10 [不平等]

各国内及び各国間の不平等を是正する



目標11 [持続可能な都市]

包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する



目標12 [持続可能な消費と生産]

持続可能な生産消費形態を確保する



目標13 [気候変動]

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



目標14 [海洋資源]

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



目標15 [陸上資源]

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



目標16 [平和]

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



目標17 [実施手段]

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる



※外務省「JAPAN SDGs Action Platform」の資料を基に作成

SDGs～ひとりひとりができること～

SDGsにはさまざまな取り組みがあり、個人でできる簡単な取り組みもあります。ここでは、日常生活の中で気軽に取り組める例をご紹介します。

電気や水を節約する



照明やテレビなど使わない時はこまめに電源を消しましょう。洗いやシャワー中は水を出しっぱなしにせず、こまめに止めましょう。



公共交通機関を使う



自動車によるCO2排出量は、日本全体の排出量の約15%を占めています。CO2の排出量を減らすため、電車やバスといった公共交通機関を利用しましょう。



フェアトレード製品を買う



発展途上国の生産者から適正な価格で継続的に取引したフェアトレード製品を購入することで、生産者の生活を支援し、継続的な製品供給に貢献できます。また、生産過程では、環境負荷が低い農業が用いられています。



国際フェアトレード認証ラベル

地産地消を行う



地域で生産したものをその地域で消費する地産地消は、地域の農業や漁業を守り、資源の保護にもつながります。また、商品の輸送距離が減ることから環境負荷も減らすことができます。



マイバッグ・マイボトルを使う



マイバッグやマイボトルを利用することで、プラスチックの使用が削減され、省エネや海洋プラスチックゴミを減らすことができます。



商品の手前取り



買い物をする際は、すぐに食べるものであれば、陳列棚の手前から商品を取るようにしましょう。期限切れによる食品の廃棄を防ぐことができます。



SDGs達成に向けた企業の取り組み

- 県内の多くの企業もSDGs達成に向けてさまざまな取り組みを進めています。
- 従業員の働き方の見直しや多様な人材の採用
 - 資源・エネルギーの有効利用
 - 地域の活動への参加

県内企業の取り組みの一例

株式会社天洋丸(雲仙市)

カタクチイワシ漁に使用している網の破れがひどくなり、補修できなくなった際に出た古い網を使いやすいサイズにカット、洗浄・殺菌し、「網エコたわし」を作っています。昔から漁師の間で重宝されていた再利用方法で、汚れ落ちや泡だちも抜群です。網エコたわしについては県政トピックス(P10)でも紹介しています。



SDGsの普及啓発事業

県では、県内におけるSDGsへの取り組みを加速させていくために、普及啓発事業を行っています。ぜひご活用ください。

長崎県SDGs登録制度

SDGsに取り組む企業などを「見える化」し、他の企業などへさらに取り組みを広げることを目的として登録制度を創設しました。

対象

- 県内に本社や支社などがあり、SDGsに取り組む意志がある企業、団体など

登録のメリット

- 長崎県独自のロゴマークを使用可能
- 県ウェブサイト登録企業、団体などを紹介

募集時期

- 第2回の募集を本年4月頃に予定



※登録制度や派遣制度の詳細については、県のウェブサイトをご覧ください

アドバイザー派遣制度

SDGsの取り組みを加速させていくことを目的とし、県内企業などを対象にアドバイザーを派遣します。

アドバイザーはSDGsに関する重点的な取り組みや指標の設定、対外的な発信にかかる支援などを行います。



カードゲーム

楽しみながらSDGsについて学ぶことができるカードゲームを作成中です。作成後、学校などへ配布するほか県民向けセミナーなどで活用します。

学校などでの講演

県の職員が学校や各種団体などへ出向き、県の取り組みについて説明を行う「ながさき県政出前講座」でもSDGsをテーマとして選ぶことができます。派遣を希望される場合は、県のウェブサイトから申込書をダウンロードし県民センターまでご提出ください。

※おおむね20人以上の県民のグループや会合が対象となります

問合せ 県民センター ☎095-894-3441

ながさき県政出前講座 検索



SDGsバッジによる普及・啓発

SDGsの17の目標の色を円形に配置したカラーホイールのSDGsバッジを県内企業が作成しています。

●波佐見焼(折鶴焼)

長崎原爆資料館や平和公園に寄贈される「折鶴」を燃焼させてできた灰を活用して製作しています。

問合せ 一般社団法人 金富良舎 検索



波佐見焼(折鶴焼)

●県産木材(間伐材)

健全な森林を保つために必要な間伐作業によって搬出された県産のヒノキを使用して製作しています。

問合せ ☎0957-27-1755 長崎県森林組合連合会 SDGs 検索



県産ヒノキ材(間伐材)